

商工会連合会報

第493号

平成25年5月1日

(昭和45年12月3日種郵便物認可)

○発行所 秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号 秋田県商工会館内 電話018-863-8491(代)

○購読料・1部10円(会費を含む) / 各奇数月1日発行

平成24年度 企業支援事業報告会開催



講評を行う佐瀬先生



報告会発表風景



開会挨拶を行う松橋県連専務理事

明治日本画壇の重鎮
東京美術学校教授、文展審査員。岡倉天心、横山大観らとともに日本美術院を創立。確かな古典技法の上に、近代的色彩、空間性、写実性を加えた格調高い作品を発表。代表作に「高山清秋」などがある。



画像提供：秋田県立近代美術館

寺崎 廣業

出身・秋田市(一八六六年～一九九年)

秋田の偉人たち

vol.25

Contents

- 1 平成24年度 企業支援事業報告会開催
- 2 県商工会連合会臨時総会並びに事務局総幹事会議を由利本荘市で開催！
平成25年度 県商工会連合会重点事業
- 3 利益創出支援事業等、3事業成果報告会を開催
あきた経営塾「事業承継セミナー」開催
- 4 雇用の安定確保に向け1,000社を訪問
知ってる？
- 5 秋田県商工会地域景況判断ボード
- 6 県内商工会の地域貢献事業紹介
- 7 商工会新会員紹介コーナー
- 8 おらほのまちの人

県商工会連合会臨時総会 並びに事務局総轄者会議を 由利本荘市で開催！

3月26日、由利本荘市の「ホテルアイリス」で平成24年度の臨時総会を開催し、平成25年度事業計画（案）及び一般会計収支予算（案）等が審議・承認されました。

今回は中央地区での開催となり、元気のある地域づくりに少しでも役立てていただきたいという思いから、公募により決めさせていただいているものです。

併せて、同ホテル内で商工会事務局総轄者会議も開催し、平成25年度県連各課の重点事業について説明を行い、両会議終了

了後の交流懇親会では開催地である由利本荘市の石川裕副市長をはじめ、商工会活動を支援する秋田県議会議員連盟の佐藤健二郎議員、岩間錬治県由利地域振興局長ほか多数の来賓を迎え、盛会裏に終了いたしました。



開会挨拶を行う村岡県連会長



来賓挨拶を行う石川由利本荘市副市長

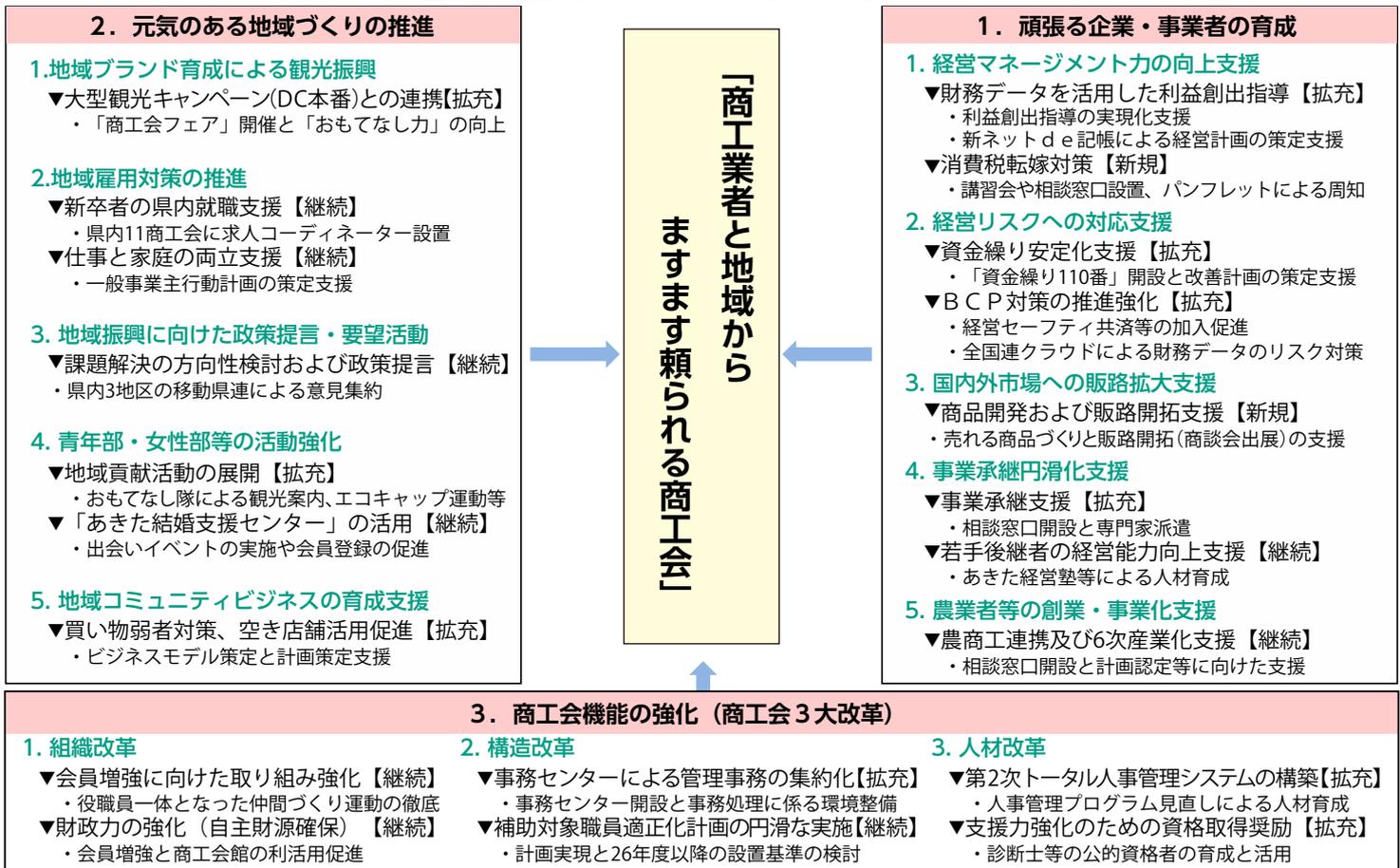


議事進行を行う藤原議長（潟上市商工会長）



交流懇親会での鏡割り

平成25年度 県連合会重点事業 ～^{ちから}商工会力で企業と地域の未来支援～



▽BCP：ビジネスコンティニューイティ・プラン/事業継続計画 (business continuity plan) ▽DC：デスティネーションキャンペーン/地方自治体・地元観光業者とJRグループとが連携して行う、観光キャンペーン

この一年間の支援成果をプレゼンし、研さんを積む 「利益創出支援事業等」3事業の成果報告会を開催

3月19日、にぎわい交流館A.U.において「小規模事業者きらめき支援プロジェクト事業」、「トップランナー事業」、「利益創出支援事業」3事業の成果等を発表する報告会を開催いたしました。

本報告会は、全県21商工会の代表が、一年間の支援事例などを発表しあい、ノウハウの共有や相互研さんをねらいとし、県の産業政策課をはじめ、行政、商工団体の専門家などを広く招き、のべ115名が参加しました。各々の成果検証から、今後の

あり方を学び、頑張る企業の応援団として商工会の重要な役割を確認しあいました。各事業の目的並びに支援内容テーマは次の通りです。



○「小規模事業者きらめき支援プロジェクト事業」の部

目的：県内の小規模事業者で販路拡大や新たな顧客の取り込みなどによる経営の向上に積極的に取り組もうとする事業者の活動を支援し、元気な小規模事業者を育成する。

- ・由利本荘市商工会 三浦春樹経営指導員 「生産性向上と新規顧客確保による経営向上支援」
- ・大仙市商工会 佐藤大輔経営指導員 「タブレットPC導入による提案力強化及び作業効率化支援」

○「トップランナー事業」の部

目的：全県の経営指導員の中から有用な人材を共通人材として本会が任命し、今年度は多様化、複雑化する会員ニーズの中で、経営革新への取り組みや、農商工連携を推進するため、事業計画の作成支援等を実施する。

- 総括：河辺雄和商工会 菊地功経営指導員
- 第1班：北秋田市商工会 津谷康介経営指導員(班長)・三種町商工会 岡部亨経営指導員
「森岳じゅんざいによる農商工連携の取り組みについて」～支援ポイントの明確化～
- 第2班：由利本荘市商工会 伊藤健一経営指導員(班長)・由利本荘市商工会 阿部玄経営指導員
にかほ市商工会 中村哲彦経営指導員
「買い物弱者モデルの提案について」～取組み・支援モデルの策定と提案～
- 第3班：よこて市商工会 佐々木律子経営指導員(班長)・仙北市商工会 加藤大作経営指導員
大仙市商工会 佐藤大輔経営指導員
「買い物弱者モデルの提案について」～取組み・支援モデルの策定と提案～

○「企画提案型事業プレゼンテーション」の部

目的：商工会自らが地域や企業の課題解決に向けた事業を企画立案し、個別ヒアリング審査によるコンペ方式で、県補助金の予算配分をしている。

- ・北秋田市商工会 大高俊美経営指導員 「北秋田市商店街カレッジ開校のご案内」
- ・湯上市商工会 加藤裕子経営指導員 「市内観光PR大作戦!湯上3スマイル☆プロジェクト」

○「利益創出支援事業」の部

目的：会員企業が厳しい経営環境の中でも継続出来るよう、企業の課題を抽出し、支援計画の策定・実践及び成果の検証を繰り返しながら、利益の創出という成果へ導く、経営支援の「見える化」に取り組む。

- 県北地区： かつの商工会 前田一浩経営指導員 「情報ツールによる顧客囲い込み」
- 北秋田市商工会 岩井寛樹経営指導員 「起業支援補助金を活用した企業支援について」
- 中央地区： 湯上市商工会 豊巻佐代子経営指導員 「売上と原価の管理とそのデータ活用について」
- にかほ市商工会 佐々木広美経営指導員 「販売促進ツール作成支援と新商品開発支援」
- 県南地区： 美郷町商工会 小南英昭経営指導員 「社員のモチベーションアップに向けた取り組みについて」
- よこて市商工会 堀内久美経営指導員 「地域商店街キャラクターを活用した商品開発支援」

あきた経営塾「事業承継セミナー」開催

3月12日、秋田ビューホテルにおいて標記セミナーが開催され、県内各地から青年部員、青年部OB、青年同友会員等約90名が参加しました。

同セミナーは、若手経営者や後継者を対象に、自社経営の舵取りを行う上で必要なスキル習得や、企業の第2線で活躍する者同士の交流機会を提供し、高い経営意欲を持つ若者を育成することを目的としております。

はじめに基調講演として、全国商工会青年部連合会前会長であり、石川県で(株)宮本酒造店を経営する宮本周司氏より「小さな企業」の活性化に向けて」と題して講演いただきました。消費量がピーク時の3分の1まで激減した酒造業界の生き残り策としてプレミアム焼酎や調味料の開発などを手掛けた経験談をもと

に、やる気と行動力で企業は活性化していくことを語っていただきました。

続いて、パネルディスカッションでは「私の経営哲学」をテーマに、各地区の代表者から事業承継の体験談をはじめ、青年部時代の経験や人脈が今の会社経営の基本になつていることや、今後の若手経営者に向けて失敗を恐れずにチャレンジして欲しいなど、出席者共熱いエールを送っていただきました。

●**県北地区**パネリスト
(株)浅利佐助商店 浅利 滋 氏(かつの商工会)

●**中央地区**パネリスト
諸橋産業(株) 諸橋 磯光 氏(湯上市商工会)

●**県南地区**パネリスト
(株)内藤 内藤 憲二 氏(よこて市商工会)



基調講演



パネルディスカッション

平成25年度 求人コーディネーター事業スタート

雇用の安定確保に向け1,000社を訪問

新規高卒者等の求人の発掘を目的に、次任命する予定となっております。県から委託を受けた「小規模事業者向け求人コーディネーター設置事業」は平成21年にスタートし今年度で5年目を迎えました。今年度も引き続き11商工会に設置予定であり、うち6商工会、6名が去る3月25日から活動をスタートしました。残る5商工会、5名は5月以降、順

1. 男鹿市商工会



さとう きょういち
佐藤 恭一

担当エリア：
男鹿市商工会
湖東3町商工会
潟上市商工会地区

2. 河辺雄和商工会



ささき しげる
佐々木 茂

担当エリア：
河辺雄和商工会地区
大潟村

3. 由利本荘市商工会



くらまち けんじ
倉町 賢治

担当エリア：
由利本荘市商工会地区

4. 仙北市商工会



たかがい たけり
高貝 建

担当エリア：
仙北市商工会地区

5. よこて市商工会



たかだ かずお
高田 和男

担当エリア：
よこて市商工会地区

6. ゆざわ小町商工会



まつだ けいすけ
松田 圭介

担当エリア：
ゆざわ小町商工会
羽後町商工会
東瀬村商工会地区

5月以降設置商工会

・かづの

・北秋田市

・三種町

・にかほ市

・大仙市



就業規則の作成・点検・整備を

秋田県商工会連合会 嘱託専門指導員 澤木 康隆 氏 寄稿

私は、一昨年四月以来、嘱託専門指導員として県内中小・小規模企業における人事・労務面に関し支援させて頂いております。ひとくちに人事・労務といってもその内容は多岐にわたりますが、就業規則（関連する諸規程を含みます。以下「就業規則」といいます。）が関係するケースが殆どであったかと思えます。支援事例を振り返ってみますと、主たる目的としては解雇、労務トラブル、定年及び再雇用の取扱い、退職金、助成金、業界団体等からの指導といった事柄への対応でしたが、その対応策の協議においては、就業規則の有無、有のときは規定がどうなっているかが非常に重要でした。そして、対応策が決定し又は対応が完了した後、これを機会として今後のために就業規則の点検・整備を行ったり、また、近年多い労働社会保険諸法令の改正等に対応するために就業規則の見直しをしたりすることが多くありました。

就業規則については、皆様もご存じのとおり労働基準法第89条により、パートタイマー・アルバイト等を含む常時10人以上の労働者を使用する事業場に作成・届出義務があります。逆にいえば、9人以下の場合には義務がないわけです（同法第15条等により労働条件明示義務があります。）が、私は、過去の支援事例や個人的事例を踏まえ、たとえ9人以下で義務がなくても作成しておいたほうが良いと考えます。（作成

した場合は同法第106条により従業員への周知義務があります。）

最近ではインターネットの普及等により、就業規則の雛形を簡単に入手できるようになりました。厚生労働省のサイト（※）にも解説付きのモデル就業規則が掲載されていて、無料でダウンロードし利用することができます。ただし、雛形・モデル就業規則は、各掲載元にも記載がありあくまで雛形・モデルであるため、自社の実情に合うよう吟味し、法令の許す範囲で追加・変更・削除を行う必要があります。また、できれば事業主・会社の理念、方針、従業員に対する思い、といった事柄も盛り込みたいものです。つまり、単なる法令遵守のための就業規則ではない、リスク管理、職場ルールの明確化、従業員のモチベーション喚起・向上のための就業規則、という捉え方です。

しかし、こうした雛形・モデル就業規則の編集等、就業規則の作成・点検・整備にあたっては、一定の労力が必要です。自社だけではできないということは勿論ありませんが、商工会の指導又は専門家派遣等を効率的かつ効果的に活用することも是非ご検討下さい。

（※）参考URL
厚生労働省 モデル就業規則について
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/model/>

秋田県商工会地域景況判断ボード

平成25年1月～3月期

概況 全体的に弱い動きが続く

【全体】 業況DI値は前回▲24.5から▲30.4と5.9ポイント悪化した。南部地域は改善傾向にあるものの、中央部地域が大幅に悪化した。業種別では、小売業が依然として最も厳しい状況にあり、その他業種も悪化している。燃料費の高騰や大雪による客足減少などが影響を与えている。



【北部】

- 業況DI値は▲28.3と前回調査より12.3ポイント悪化し、3地区で最もマイナス幅が増加している。全項目のDI値がマイナスで推移しているが、特に採算が悪化したと感じている企業が多い。
- 来期の見通しは全ての項目がマイナスであるが、売上を除き、持ち直すと思われた企業が多い。特に業況が回復すると思われている企業が多い。

【中央部】

- 業況DI値は▲43.9と前回調査より9.5ポイント悪化し、3地区で最も悪い数値となっている。前回調査に引き続き全項目で悪化傾向になっている。
- 来期の見通しは全ての項目がマイナスであるが、持ち直すと思われた企業が多くなっている。中でも業況について改善すると思われている企業が多い。

【南部】

- 業況DI値は▲20.4と前回調査より4.1ポイント改善した。資金繰り以外は緩やかな回復傾向がみられる。
- 来期の見通しは全ての項目がマイナスであるが、持ち直すと思われた企業が多くなっている。特に売上について改善すると思われている企業が多い。

【製造業】「厳しい採算確保」

- **今期の業況** DI値は、▲24.2と前回調査より10.1ポイント悪化している。原油高、製品単価の低下や製品ニーズ多様化への対応により利益の確保が難しくなっている。
- **来期見通し** 今期より全てのDI値が改善傾向にあるものの、どの項目もマイナスを示している。
- **設備投資** 今期実施件数は4件あり、そのうち生産設備に対する投資が1件ある。また、来期計画件数は6件で、生産設備に対する投資が5件あり、厳しいながらも、受注の見込みがあることがうかがえる。

【建設業】「大雪等の影響で弱い動き」

- **今期の業況** DI値は▲10.4と前回調査より23.1ポイントの大幅な悪化している。売上・採算・資金繰りも悪化傾向に転じている。官公需要の停滞や大雪による作業延長の経費掛かり増しなどが影響している。
- **来期見通し** 資金繰りはマイナスを示しているものの、その他DI値は今期より改善傾向にある。
- **設備投資** 今期実施件数は5件あり、そのうち不動産や建設機械に対する投資が3件ある。また、来期計画件数は9件で、不動産や建設機械に対する投資が3件と、先行き不透明な状況だが、受注の見込みがあることがうかがえる。

【小売業】「足踏み状態が続く」

- **今期の業況** DI値は、▲53.1と前回調査より5.2ポイント改善している。売上・採算・資金繰りも改善傾向にあるものの、他の業種と比べ悪化企業の占める割合が高い。長引く需要の停滞や大型店への購買力の流出などが影響している。
- **来期見通し** 売上を除いたDI値が今期より改善傾向にあるものの、マイナス値となっており、依然厳しい状況が続くと予想した企業が多い。
- **設備投資** 今期実施件数は7件あり、そのうち販売設備に対する投資が4件ある。また、来期計画件数は6件で、販売設備に対する投資が1件と、先行き不透明な現状に現状設備で対応している企業が多数見られる。

【サービス業】「不透明な先行きに不安」

- **今期の業況** DI値は、▲25.9と前回調査より3.8ポイント悪化、その他DI値も弱めに推移している。仕入単価上昇やニーズの変化、燃料費の高騰と併せ、大雪による客足の減少が影響している。
- **来期見通し** 今期より全てのDI値が改善傾向にあるものの、どの項目もマイナスを示している。
- **設備投資** 今期実施件数は15件あり、そのうち建物・サービス設備に対する投資が6件ある。また、来期計画件数は13件で、建物・サービス設備に対する投資が7件あり、厳しいながらも、投資意欲のあることがうかがえる。

北部トピックス

- 平成19年の米代川水害で被災し、休業していた能代市二ツ井町の宿泊施設が4月中旬オープンに向け準備が進められている。新規の雇用が10名程度見込まれ、地域から大きな期待を受けている。
- 鹿角市の信販会社が事業を停止し自己破産申請の準備に入った。また事業資金を調達していた不動産賃貸業の関連会社も自己破産の申請をした。

中央部トピックス

- 1/10～2/10に開催された「んだっ鰯、にかほ市へ！」事業と新特産品「たらしよっつる」を活用した料理提供事業は多くのメディアに取り上げられ、参加店舗の売上向上と鰯のまちPRIに貢献した。
- 地域製造業の工場閉鎖が相次いでいるが、従業員の技術力の高さを評価し、空き工場を確保できることから誘致企業が事業を承継するなどの動きがある。

南部トピックス

- 横手市増田町の町並みや内蔵の「国の重要伝統的建造物群保存地区」選定作業が大詰めを迎えている。年内の選定と合わせ今年はデスクリネーションキャンペーンの本番であり交流人口増が期待される。
- 建設業を中心に、豪雪による除雪や雪おろし等の依頼が例年以上に多く、受注額が伸びた。

【天気図】 前年同期比のDI値をもとに作成



※「DI値」とは、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で各調査項目についての増加企業割合と、減少企業割合の差を示す。

【調査要領】

- 調査対象 (1)対象地区:全21商工会地区 (2)対象企業数:294企業 (3)回答企業数:294企業 (回収率:100%)
- 調査対象時期 平成25年1月～3月期を対象とし、調査時点は平成25年3月1日とした。
- 調査方法 (1)商工会の経営指導員による訪問面接調査 (2)調査対象企業の抽出は「中小企業景況調査実施要領およびマニュアル」による。

4. 調査対象企業数内訳

業種	対象企業数			合計
	北部	中央部	南部	
製造業	22	18	23	63
建設業	18	18	17	48
小売業	25	28	26	79
サービス業	41	31	32	104
合計	106	90	98	294

5. その他

- (1)前年同期とは平成24年1月～3月期、前期とは平成24年10月～12月期、来期とは平成25年4月～6月期のことをいう。
- (2)本報告で主に使用する調査項目は、業況・売上・採算・資金繰り、設備投資の状況である。

県内商工会の地域貢献事業紹介

二ツ井町商工会(県北地区)

事業名 恋文商店街推進事業(緊急雇用)

1 事業の内容

能代市の支援を受け商店街に賑わいを創出すること、地域コミュニティの補完的機能の役割を確立することを目的として、3年間継続して取り組んでおります。具体的には、現在事務所として借用している空店舗(恋文すぽっと きみまち)内での、展示物や講座の充実。特に講座については店主による自分の商売に関連した講座を行います。更には、恋文商店街と連携したイベントを実施し商店街に賑わいを創出いたします。



二ツ井公民館の移動文庫コーナー



商店会によるワンコインセール

2 事業の効果

地域の交流施設である「恋文すぽっと きみまち」に行けば、「何か楽しいことがあるかも」「わからないギモンが解決!」など地域の情報発信と収集のスペースとしての側面が少しずつ認知され始めてきたと感じています。スタッフとの日常会話を楽しみに頻繁に来られる方もおります。地道な活動ですが、講座や展示などを通じ「恋文すぽっと きみまち」のPRに努め、子供から高齢者まで集える“地域の憩いの施設”を目指します。今後「恋文すぽっと きみまち」へ来所された方に対して、恋文商店街の特売品情報などを発信し、各個店の売上UPへ結びつけたいと考えております。

由利本荘市商工会(中央地区)

事業名 「ゆりほんじょう工業ブランド化」確立プロジェクト!!(企画提案型事業)

1 事業の内容

製造業を取り巻く環境がより一層厳しさを増す中、企業価値を高める3つの柱(企業力強化、人材育成、受注開拓)を強化することで企業価値を高め、企業のブランド化を向上することを目指すもの。

(1) 企業力強化

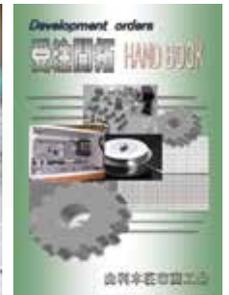
「ISO認証取得支援セミナー」と「BCP策定支援セミナー」を開催して、高度な生産管理や品質管理で体制を強化し、経営基盤を強化する。

(2) 人材育成

若年層の技術力養成と高校生の就職支援で、企業の即戦力とブランド化を推進する「アーク溶接特別講習会」で人材育成を行い、管内企業の価値を高めるもの。



アーク溶接の講習会



ハンドブックの表紙

(3) 受注開拓強化

中小企業の実践的な受注力強化支援ツールとして、人材・企業の育成強化の必要性、コスト削減対応、コンプライアンス対応、受注強化策など各種課題への解決策を支援するマニュアルとして「受注開拓ハンドブック」を作成、企業の受注開拓の指南書的な役割を果たした。

作成に当たっては、川崎重工業(株)に長年勤務し、新商品の開発や知財、発明品の指導経験もある畠中豊氏に原案を依頼し、管内企業の営業担当を交えた「受注力検討会議」で完成させた。

また、ハンドブックを利用して受注開拓セミナー等の各種セミナーを開催した。

2 事業の効果

企業力強化、人材育成、受注開拓の3つの柱で事業を実施。企業にとってすぐに効果や実績が見える人材育成と技能養成に要望が多く、今後も商工会の支援を期待されている。

企業力強化や受注開拓は、事業主や従業員の経営、営業のヒントや参考と資質向上へとつながるものであった。なお、37企業から136名の事業主や従業員の参加があり、企業のレベルアップだけでなく従業員等の資質向上にもつながった。

ゆざわ小町商工会(県南地区)

事業名 「あきた美人と匠の郷」PR活動事業PartⅦ 酒蔵 de アート&カフェ(企画提案型事業)

1 事業の内容

本会青年部が主体となって取り組んだ標記事業は、地域活性化の手法として、地域の特産品を使ったスイーツをPRするため「全国まるごとうどんEXPO in 秋田・湯沢」が開催された昨年の9月29日(土)、30日(日)の両日「酒蔵 de アート & カフェ」を開催しました。

この事業は、昨年開発した地域の特産品を使った試作品の内、好評だったスイーツに着目し、りんごを使用したパイやラム酒ケーキ、米粉を使用したチーズケーキや小豆を使用した饅頭の試食会を行ったもので、PRイベントとして大変好評を得ることが出来ました。



2 事業の効果

会場を湯沢市の歴史的建造物である酒蔵にすることや地域にゆかりのある作家のアート展を開催するなど、誘客に努めた結果、約1,700人の来場があり地域の特産品を使ったスイーツが広く一般消費者にPRされ、地域グルメの醸成に貢献できました。

今後は試作品の認知度を上げ販売に結び付けていくことで地域に賑わいを創出するとともに、特産品の消費を伸ばし、地元業者の活性化が図られるよう観光客の誘客を目的として更なる事業展開を行います。

商工会新会員紹介コーナー

新たに県内21商工会の会員となられた皆様を紹介します。

二ツ井町商工会

企業名：鉄板焼き でんでん
 代表者名：田口 真理子
 所在地：〒018-3151
 能代市二ツ井町字三千苅63-22
 連絡先：TEL 0185-73-2228
 定休日：月曜日 営業時間：17:00～00:00



新会員から一言：平成24年8月オープンのお店です。鹿角直送ホルモン、北海道直送生ラムジンギスカンをメインに、さっぱり味の特製唐揚げやザザメンなどメニューが豊富です。能代市二ツ井町においでの際は、是非お気軽にお立ち寄りください。

由利本荘市商工会

企業名：Sun(サン)
 代表者名：高橋 早苗
 所在地：〒015-0836
 由利本荘市赤沼下182-17
 連絡先：TEL&FAX 0184-23-1337



入口の看板

美容室内の風景

新会員から一言：太陽がニコリほほ笑むと、みんなが元気になる。太陽がまばゆいばかりのヒカリでみんなの心が暖かくなる。そんな美容室にしたいと言う想いから『Sun』と名付けました。これからお客様に合ったスタイル提案をし、笑顔で頑張っていきたいと思っています。

ゆざわ小町商工会

企業名：秋田県漆器工業協同組合
 代表者名：理事長 佐藤 善六
 所在地：〒012-0105
 湯沢市川連町字大館中野142番地1
 連絡先：TEL 0183-42-2410
 FAX 0183-42-2633
<http://www.kawatsura.or.jp>
<http://www.chuokai-akita.or.jp/shikki/>
 E-mail: shikki@yutopia.or.jp



新会員から一言：当組合が入っている川連漆器伝統工芸館の一階は展示即売場、二階は八百年の伝統を誇る川連漆器歴史資料館が無料で見学できます。近くへお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。

平成25年度 各種検定試験の日程

1. 全国商工会珠算検定

実施級	回	試験日	募集期間
1～9・10級	第169回	6月16日(第3日曜)	4月18日(木)～5月17日(金)
1～9・10級	第170回	9月15日(第3日曜)	7月18日(木)～8月16日(金)
1～9・10級	第171回	11月17日(第3日曜)	9月19日(木)～10月18日(金)
1～9・10級	第172回	平成26年2月16日(第3日曜)	12月12日(木)～平成26年1月17日(金)

2. 販売士検定 (日本商工会議所と共催)

実施級	回	試験日	募集期間
3級	第72回	7月13日(第2土曜)	5月27日(月)～6月20日(木)
2級	第41回	10月2日(第1水曜)	8月16日(金)～9月9日(月)
1級	第41回	平成26年2月19日(第3水曜)	12月19日(木)～平成26年1月27日(月)
3級	第73回		

3. 全国商工会簿記検定

実施級	回	試験日	募集期間
3級	—	12月6日(第1金曜)	10月8日(火)～11月8日(金)

小売業から一念発起で乗り出した甘酒づくり

～地域資源の活用で大仙市の活路を見い出す発展大使～

No.93

おらほ
の
まちの人



藤本商店
代表 藤本 欣平

小売からモノづくりへ

昭和13年の創業以来「何でも屋さん」として地域で親しまれている藤本商店は酒類を中心に食品、雑貨販売などの小売業を営み74年。2代目である藤本欣平さんは商店経営のほか商工会理事や部会長などを務める傍ら、



14年前より甘酒の製造に乗り出し、今や首都圏や九州地方にまで販路を広げ意欲的に製造販売に取り組んでいます。

大仙市は出羽丘陵と奥羽山脈に囲まれた仙北平野が広がる、国内有数の穀物地帯。その大仙市太田町で生まれ育ち、豊穰な土地柄や自然の恩恵を受けてきた藤本さんはいつの日からか「自分にとっては当り前の太田の魅力を知ってほしい。太田の資源を活かして魅力を伝えられないか」と考えるように。そんな中、ある人から「太田の米で甘酒を作って欲しい。子供のころに飲んでいた手づくりの甘酒が今でも忘れられない。そして地域資源を活用した商品開発で地域活性化、雇用創出に繋げて欲しい」と言われ「これだ!」と一念発起。平成10年、昔ながらの製法による甘酒の製造に乗り出したのです。

こだわりの甘酒に販路開拓の壁

甘酒の商品化に向け、藤本さんは中仙地区の酒蔵(名)鈴木酒造店の門を叩きます。鈴木社長の指導のもと酒蔵の一角を借りながら試行錯誤を繰り返し、もち米と65%精米麹と水だけで作った無添加・無砂糖の「甘酒ほっと」がついに完成。そして、それからは販路開拓のための営業や商談、販促ツールの作成など、忙しい時には何足ものわらじを履いて奔走すること数年。「ところが自分が思ったほど売れなかった。一度飲んでさえもらえればいいのだけど、なかなかその「一度」に繋がらなくて。壁にぶち当たりましたね」と藤本さん。



塾への参加で得られた財産

藁をも掴む思いで応募した秋田県産品テスト販売制度。ここで好評を得て、県産品プラザ(秋田・東京)、秋田空港での定番化を獲得。その後、地元スーパーでの定番化を獲得す



るなど販路確保の気運が高まります。しかし、その一方で藤本さんは「取引先の確保と同時に『商談』を勉強し直したい。順調な時こそ学ばべきだ」と商工会が実施する農工商連携等人材育成事業「大仙発展大志(大使)育成塾」に参加。平成20年から4年に亘り農工商連携の基礎知識、商品開発、商談のノウハウを学び、東京での販売実習や展示商談会にも積極的に参加。「バイヤーや都会の人の反応に直接触れ、課題も見えたと自信もついた。そして何より講師、バイヤー、仲間とのネットワークという財産ができた。塾に参加して本当に良かった」と藤本さんの表情は活き活き。

はばたけ! 大仙発展大使

昨今の麹ブームより「飲む点滴」と唱われ大注目を浴びている甘酒。「ブームに捉われず、これからもこだわり続けて地域の活性化に繋がりたい」と、ピカピカに手入れをされた調理釜を撫でながら、「今後は塾の仲間と連携して秋田、大仙の活路を見出し、大仙発展大使としてはばたきたい」と語る藤本さんの眼差しはしっかり遠くを見据えていました。

甘酒はビタミン類、必須アミノ酸、食物繊維が豊富な自然食品。冬はホットで、夏は冷やして美味しくいただけます。「甘酒ほっと」のパワーで疲れを癒し、心に安らぎを。

藤本商店

〒019-1602
大仙市太田町三本扇字今宿42-2
TEL・FAX:0187-88-2161
HP:<http://www.shokokai.or.jp/05/0543114047/>
「甘酒 藤本商店」で検索



河辺雄和商工会が、「がん重点補償」の純増口数ランキングで、前年度全国第1位を獲得しました! (純増実績16口)

共済金の請求手続等、何かあったらすぐに駆けつけたいという気持ちで保険をお薦めした結果が実績に繋がったとのこと。本年度4月1日より、がん・がん以外の病気やけがまで補償する「トータル「がん」補償」に加え、高血圧症・高脂血症・糖尿病等の既往症がある方も加入できる「シンプル「がん」補償」が新設されました。御興味のある方は、いつでもお気軽に商工会へご連絡ください。

あなたも家族もまるごと守る! 頼れる補償の

商工会の福祉共済

全国商工会員福祉共済

「けが」の補償
「病気」の補償*
トータル「がん」補償
シンプル「がん」補償がスタートしました!

商工会員10万人以上の方に
ご利用いただいています

お申込みはご加入の商工会まで

*「病気」の補償は「けが」の補償に加入されている方のみお申込みいただけます。



※この紙は再生紙を使用しています。